

令和7（2025）年度版

# 農大

## だより

令和7年11月1日発行

愛知県立農業大学校

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2

Tel : 0564-51-1601 Fax : 0564-51-4831

E-mail noudai@pref.aichi.lg.jp

ホームページ : <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



## CONTENTS

- 1 専攻紹介（酪農）
- 2 特集  
農起業支援ステーション
- 3 専攻トピックス
- 4 トピックス
- 5 お知らせ（農大祭予告）
- 6 クラブ活動紹介（テニス部・写真部）
- 7 SNS投稿 dialy

愛知県立農業大学校  
公式HP



Instagram



X（旧 Twitter）



## 専攻紹介

# 酪農専攻

酪農専攻では、搾乳牛24頭、育成牛23頭、肥育牛13頭、和牛4頭を飼養しており、1年生17名、2年生9名の計26名で飼養管理作業を行っています。多くが非農家出身で、入学してから初めて牛と触れ合う学生もいますが、すべての学生が半年ほどで一通りの管理方法を身につけます。

酪農は朝夕2回の搾乳など毎日欠かさず作業を行う必要がありますが、その結果、学生同士の結びつきは強く、実践的な技術を楽しく身につけることができます。

## 牛と暮らす毎日

The collage consists of nine photographs arranged in a grid-like pattern, each with a speech bubble containing a message:

- Top Left:** Two people standing in a field of tall corn, raising their arms in excitement. Speech bubble: "デントコーン！とっても大きく育ちました"
- Top Right:** A large black silhouette of a cow. Speech bubble: "今までありがとう  
美味しいお肉になってね"
- Middle Left:** A person in a blue shirt milking a brown cow. Speech bubble: "子牛は重いけど、まだギリギリ運べる"
- Middle Center:** A close-up of a white cow's face looking directly at the camera.
- Middle Right:** Several people standing outside near a truck or trailer.
- Bottom Left:** A person hugging a small black and white calf.
- Bottom Center:** A person holding a small black and white calf while another person holds a blue container.
- Bottom Right:** A person working with a small animal in a red enclosure. Speech bubble: "生まれたての小さい命  
大きく育ってね"

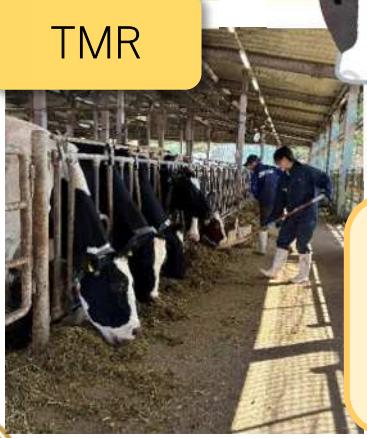
## 酪農専攻の実習

### 搾乳



搾乳は毎日2回。  
品質の良い生乳を出荷する  
ため努力しています。

### TMR



搾乳牛へは  
TMRという餌  
を調整し、給与  
しています。  
牛の体調等を見  
ながら配合を変  
更します。

### 肥育牛



濃厚飼料中心の給与のため、牛の状態に  
気をつけながら給与を行う必要があります。

### 育成牛



しっかり食べて、  
24ヶ月齢ごろの  
分娩に備えます。

### 子牛・哺乳



子牛の時期を健康に  
過ごすことは、その後の成長のためにも  
大切です。

### 繁殖



子牛が生まれなければ乳は生産されません。  
繁殖管理は酪農経営の根幹を担います。



糞は堆肥化して圃場に還元する  
循環型酪農を実践しています。

### 堆肥



### 自給飼料・放牧

デントコーンサイレージ等、  
自給飼料の作成や牧草地での  
放牧にも取り組んでいます。

## 特 集

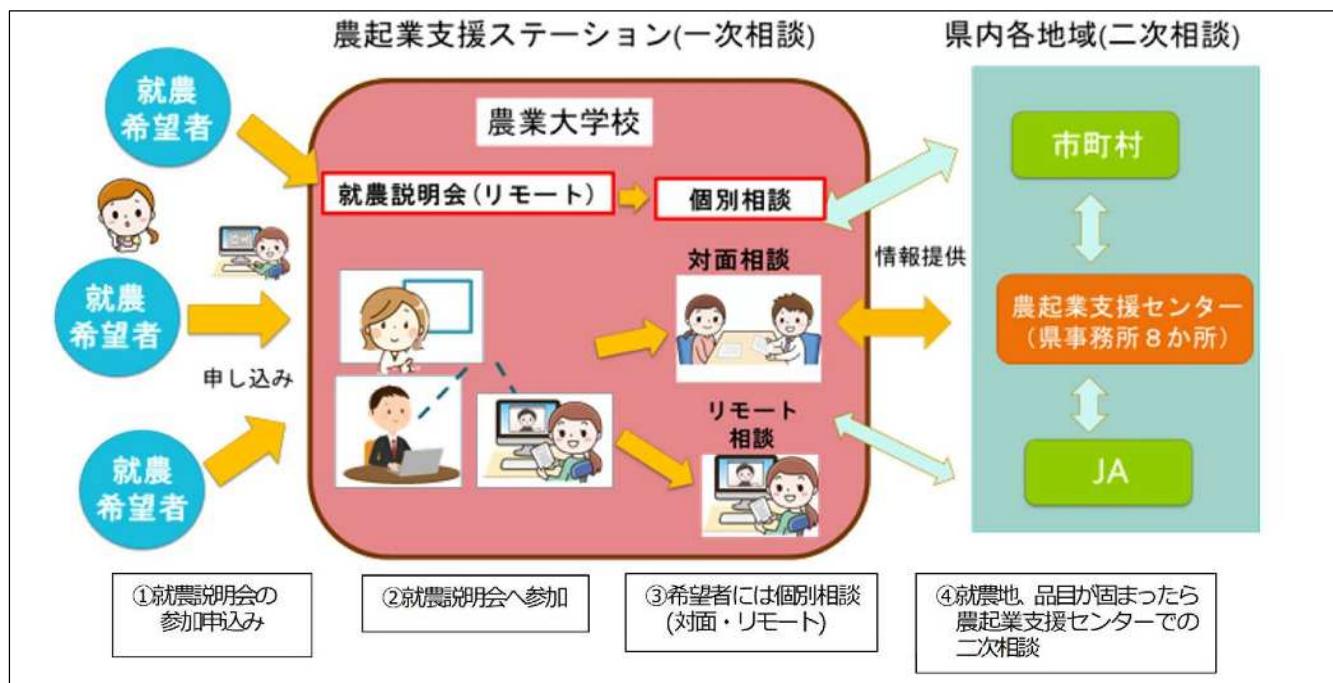


愛知県は、県内全域の就農相談窓口として「愛知県農起業支援ステーション（以下「ステーション」）」を農業大学校内に設置しています。農業大学校では、農業後継者、新たに就農を希望する学生・研修生の育成に加え、就農者確保に向けた相談機能も果たすことにより、愛知県農業の担い手の確保と育成を総合的に支援しています。今回は、ステーションの活動を紹介します。

### 就農相談の流れ～就農説明会後に個別相談～

#### 1 就農説明会

「農業を始めたい」希望者には、まず、ステーションが開催する就農説明会（以下「説明会」）に参加してもらいます。就農を考える上で、最低限必要な知識として、就農するまでの基本的な流れと、品目の決定や農地の確保など就農に必要な要件や支援制度などを説明しています。





## 2 申込方法

説明会の申込はインターネットで受け付けています。農大のWebページの申込みフォームに必要事項を入力することで、お申込みいただけます。（以下のQRコードから農大Webページに入れます）



申し込みが完了すると自動返信メールが届きます。

リモートで参加を希望された方は、開催2日前にCisco Webex MeetingのWeb会議のURLをステーションからメールします。

回	月 日	時 間	申込み締切日
第15回	11月 5日(水)	13:30-15:30	10月30日(木)
第16回	11月21日(金)	18:00-19:00	11月18日(火)
第17回	12月 2日(火)	13:30-15:30	11月27日(木)
第18回	12月17日(水)	18:00-19:00	12月14日(日)
第19回	1月 8日(木)	13:30-14:30	1月 5日(月)
第20回	1月26日(月)	18:00-19:00	1月21日(水)
第21回	2月 5日(木)	13:30-14:30	2月 2日(月)
第22回	2月20日(金)	18:00-19:00	2月17日(火)
第23回	3月 4日(水)	13:30-15:30	3月 1日(日)
第24回	3月13日(金)	18:00-19:00	3月10日(火)

## 今後の就農説明会の予定

説明会の後、個別の就農相談（リモート・対面を選択可）の予約を受け付けます。個別相談は事前に就農相談カルテを作成・提出していただいた上で、相談者の希望・状況に合わせてステーションから助言・情報提供します。

品目や就農地が決まった段階で、就農地を所管する農起業支援センター（県農林水産事務所農業改良普及課）での相談へと移行し、市町村、JA等関係機関も含めて就農に向けて具体的な支援へと繋ぎます。

## ステーションでの就農相談状況と今後の取組

ステーションでの令和7年度上半期の相談者は202人で、昨年度と比較し相談が増えています。

県では、農業の魅力発信と農業を始めたい方への情報提供のため、より魅力ある情報発信の強化に努めています。ご意見・ご要望をお待ちしています！

説明会は月に2回、基本的にリモートで開催しています。説明会に加えて「農業見学」「JA等産地の研修受入体制の紹介」「先輩農家の講話」を実施する回もあり、この場合には対面でも参加することができます。「先輩農家の講話」では、直接新規参入者から就農に向けた取組や心構え、営農が軌道に乗るまでの苦労など、実体験を直接聞くことができ、参加者からとても好評です。

12月2日に開催する第17回説明会でも計画していますので、就農を検討されている方は、是非ご参加ください。

# 専 攻 トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

## ○専攻別学生数

(注)カッコ内は女子の内数

区分	鉢物・緑花木	切 花	作 物	果 樹	露地野菜	施設野菜	酪 農	養豚・養鶏	計
1年	7( 0)	9( 2)	6( 1)	15( 4)	15( 3)	13( 2)	17( 12)	8( 3)	90( 27)
2年	6( 0)	8( 2)	8( 2)	13( 3)	13( 4)	15( 2)	9( 4)	4( 4)	76( 21)
計	13( 0)	17( 4)	14( 3)	28( 7)	28( 7)	28( 4)	26( 16)	12( 7)	166( 48)

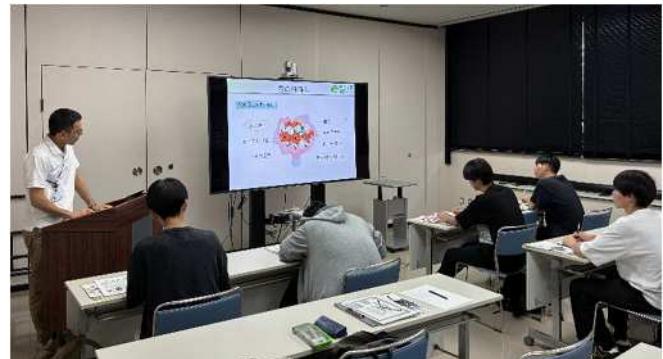


### 県外学習でスマート農業技術や鉢物の販売方法について学ぶ

#### 鉢物・緑花木

鉢物・緑花木専攻2年生は、県外学習として、花き部門の様々な研究を行う農研機構と鉢物で関東最大規模の販売店であるオザキフラワーパークを訪問しました。農研機構では、スマート農業技術を活用し、生産効率の向上を目指す「植物工場つくば実証拠点」での取組や花きにおける最先端の育種事例などについて学びました。オザキフラワーパークでは、鉢物における販売面の現状や収益性の高い経営手法について学びました。

盛りだくさんの内容で非常に有意義な県外学習となりました。



### 県外学習で流通について学ぶ

#### 切 花

切花専攻では、10月2～3日に2年生が県外学習で東京に行きました。都内の花の小売店や切花の取扱高で国内第一位の市場である大田花きを訪問しました。

大田花きでは、様々な作業の自動化やAIを活用したスマート物流の取組のお話を伺うことができ、大変有意義な時間となりました。





露地野菜

## 秋冬野菜の収穫が始まる

ようやく暑さが落ち着きサツマイモ、カブ、サトイモ、ラッカセイ、コマツナ等の秋野菜の収穫出荷が始まりました。夏の暑い時期に学生が種をまき、水をかけ、草を抜き育てた野菜です。ぜひ直売で手に取ってみてください。

話は変わりますが、筆者は約半年間育児休暇を取得し9月に職場復帰しました。復帰後の実習では、学生が実習内容を見て人員配分、目標作業終了時間、動線等について話し合い、効率よく実習が行われていました。半年前と比較し成長が著しく、若者の成長は早いことにとても驚きました。今後の学生の成長が楽しみです。



施設野菜

## お待たせしました、トマト・ミニトマトの販売はじめました！

8月、9月は植え替えのためトマトやミニトマトの販売をお休みしていましたが、10月中旬から施設野菜専攻の高軒高ハウスでいよいよ収穫を開始しました。今作では高軒高ハウスで大玉トマトに加えて、ミニトマトの栽培にも挑戦して、ミニトマトの収量アップを目指しています。

直売での販売がはじまったのでぜひ足を運んでください！



作物

## お米の収穫が順調に進んでいます

化学農薬と化学肥料を栽培期間中使用していない、環境に優しい米作りを行っているほ場の収穫を行いました。除草剤を使わない栽培では学生が除草を行わないといけない時間が多くなります。ただ、今年は学生が頑張って除草をしてくれたおかげで雑草が少ない状態でした。そのため、雑草に栄養が奪われず立派なお米が育っています。

また、10月下旬には、3.3haすべてのほ場でお米の収穫が終了する予定です。





## 今年もおいしいジャムができました

果樹専攻では、毎年、収穫した果物の規格外品を利用して、加工演習でジャム作りをしています。今年は、アンズ、モモ、イチジクのジャムを作成し、11月にはマーマレードを作る予定です。ジャム作りの時、学生たちは根気よく煮詰めたり、日持ちや安全性のために糖酸測定もきっちり行って、その数値によって砂糖を追加したりペクチンを追加したりと、工夫しながら作成しています。学生たちが頑張って作ったジャムは12月の農大祭で販売予定です。ぜひお買い求めください。



## 高さは学生2人分！ ソルガムが大きく育っています

酪農専攻では、牛の粗飼料としてソルガムを栽培しています。ソルガムは8月下旬に播種をして、11月中旬に収穫を予定しています。

今年は天気も良く、2か月でなんと3mを越える背丈になりました。大きく育つ品種をみんなで選びましたが、ここまで大きくなるとは予想しておらず、学生も先生もびっくりです。収穫までの残りひと月でたくさん栄養を蓄えて、美味しい牛の餌になって欲しいです。



## 屋外平飼い飼育に奮闘しています

畜産業界では、近年アニマルウェルフェアに関心が高まっています。当校でも学生の卒業プロジェクトとして、この夏から卵用名古屋コーチンの野外平飼い飼育をしています。単管パイプ、ベニヤ板等により、学生が力を合わせて作成した飼育場で管理をしていますが、鶏は外観的にはケージ飼育に比べ毛艶がよく感じられます。脱走等のトラブルもありましたが、何とか夏を乗り越えてくれました。産卵性はケージ飼育に比べてやや劣りますが、卵質向上が見込まれますので、今後は実習販売でお客様の意見を伺いながら、更なる飼育の改良に努めていきます。



## トピックス

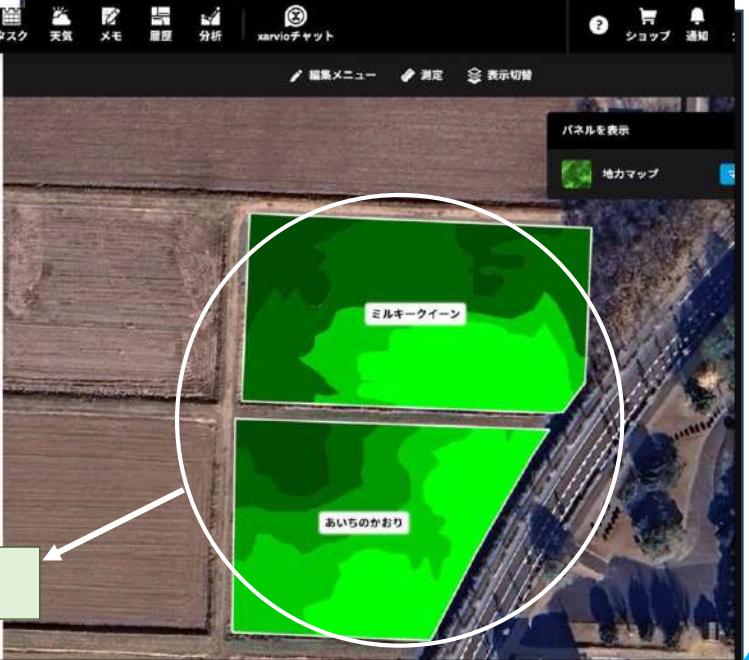
### 農水省の視察を受け入れました

9月26日（金）、農林水産省の関係者が本校を訪問し、スマート農業機器の活用状況や学校運営について視察しました。

本校では、令和4年度に国の補助事業により、水稻を刈り取ると同時に収穫量と食味（タンパク値+水分）を自動で測定できるコンバインを導入していますが、今回の視察では、その収穫作業を見学し、学生との質疑応答も行いました。



収量・食味分析システム



地力マップ

その後の農大職員との意見交換では、スマート農業技術の導入状況や学生募集、就農支援など幅広い話題が取り上げられ、施設の老朽化や就農の受け皿不足などの課題を共有しました。農水省担当者からは「事業をうまく活用しており、今後も担い手育成に期待したい」との言葉をいただきました。意欲をもって学べる環境作りを今後もめざしていきます。

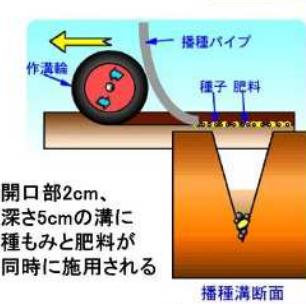
## 出前講座(作物)を実施しました

10月20日（月）に愛知県立佐屋高等学校で「農大出前講座」を実施しました。同校の生物生産科グリーンコース3年生15名が参加し、愛知県の先進的な稻作として「水稻不耕起V溝直播栽培」を中心にスライド等を用いて農大職員が説明しました。



### 水稻不耕起V溝直播栽培

#### 不耕起V溝直播機



参加した生徒達は手元のレポート用紙に熱心にメモを取り、真剣に講座に取り組む姿が見られました。高校での授業では移植栽培単独、不耕起V溝直播栽培単独での経営を想定していたようでしたが、現場では両者を組み合わせることで、作業分散、さらなる経営面積拡大を図っていると伝えました。

## パソコン農業簿記活用研修を実施しました

9月29日（月）に本校情報処理室において、経営管理研修「パソコン農業簿記活用研修」を開催し、25名の参加がありました。

ほとんどの参加者が8月27日（水）に開催した「パソコン簿記研修入門」で簿記の基礎を学んでから「活用研修」を受講されたため、大変理解が早く、スピーディーに進行しました。

講師の樋田先生による講義では、決算整理の手順から始まり、仕訳、農産物の棚卸、減価償却、保険積立金等の処理方法について、項目ごとに演習問題に取り組みながら、入力操作の実際を学びました。

その後、入力済み伝票のチェック方法、決算修正のポイント、消費税の換算方法等の手法を習得しました。

最後に、経営分析を行い、特に、グラフ化することで「見える化」を図り、経営の改善点を明確にしていきました。



## 農業関係高等学校農場長との意見交換会を開催しました

10月1日（水）に、農業関係高等学校農場長との意見交換会を行いました。

農大の概要と近況報告、農業高校全体の動向説明に続き、農業高校を対象とした農業大学校出前講座について意見交換を行いました。

和耕寮（学生寮）で昼食を堪能した後、午後は校内ほ場の見学と、各高校卒業生の代表と懇談をしていただき、農大で成長した姿をみせる良い機会となりました。



## 農業系高等学校後継者等特別推薦入学試験を行いました

9月30日（火）に行われた令和8年度入学農業系高等学校後継者等特別推薦入学試験では、県内農業関係高校6校から、14名が受験しました。そのうちの6名が農業後継者、8名が非農家で卒業後は就農を考えています。

合格発表は10月8日（水）で、14名全員が特別推薦入学試験に合格しました。

今後、一般推薦入学試験が、10月31日（金）に行われます。就農や雇用就農に意欲のある学生の応募を期待しています。



### お知らせ

#### 令和8年度入学者選抜試験（一般入学一次試験）

出願期間	11月11日(火)～11月26日(水)
試験日	12月9日(火)
合格発表	12月18日(木)
試験科目	数学Ⅰ、小論文（800字以内）、面接試験
募集人員	定員100名の内、推薦入学合格者を除く数

※ 詳細は、本校ホームページを御覧ください。

願書  
受付中！

予告

# 農大祭2025を開催！！

愛知県立農業大学校は、農畜産物販売などを通して地域の方との交流を図り、農大を身近に感じてもらい、愛知県の農業の魅力を発信することを目的に「農大祭 2025」を開催します。

## ■ 開催日時

12月6日（土）午前9時から午後1時まで（入場開始 午前8時30分）

公共交通機関の御案内：名鉄美合駅下車 南へ徒歩10分

## ■ 主な内容

### ① 農畜産物の直売、食品バザー

各専攻で育てた鉢植え、切花、米、果樹、野菜、卵などの直売。五平餅、からあげ、焼きいもの販売など。

### ② 農業大学校のP R

各専攻のパネル展示、キャンパスツアー

### ③ 各種団体・企業ブース

農業大学校に関係する団体、企業がブースを出展し、展示や即売を行います。

※駐車場は例年混雑するため、公共交通機関を御利用ください。

※家畜防疫上、ペットの同伴はご遠慮ください

## ポスターの部

### 【リーフレット採用】

## 酪農専攻 1年 大脇 亜美

### <コメント>

農大祭は学生のみんなで生産したものを普段見ることのない一般の方々に見てもらえる素敵な機会です。少しでも多くの方々に来てもらいたい気持ちをイラストにしました。農大がどんな学校か知る機会になることを願っています。



愛知県立農業大学校

農大祭  
2025

米



テーマの部

「ぶちまけろ 自分の心に秘めたモノ」

露地野菜専攻 2年 小寺 輝

<コメント>

動いて!働いて!頑張って!やっとの思いで迎えた農大祭! 悔いの残らないように自分の気持ちをぶちまけ、魂震わして楽しみましょう!!



ポスターの部

【新聞折り込みチラシ採用】



切花専攻 1年 杉山 そら

<コメント>

とても嬉しいです。  
ポスターを通して農大祭に来てくださる方が増えたらいいなと思います。



## クラブ活動紹介

農大では、授業後の余暇時間を利用して、学生主体でクラブ活動が行われています。クラブは、全部で12クラブ。今月は「テニス部」と「写真部」を紹介します。

### テニス部

部員数 7名

(男子7名)

活動日時 不定期 17:00～

活動場所 体育館

こんにちは！テニス部です。

楽しくゆるくテニスをしています！東海近畿スポーツ大会の競技種目になっているので、農大の仲間たちだけでなく、他県の選手とも試合することができます！テニス未経験でも大歓迎です！一緒に楽しみましょう！



### 写真部



部員数 13名

(男子4名、女子9名)

活動日時 不定期

活動場所 農業大学校の学校行事

(体育祭、東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会、収穫感謝祭、農大祭等)



主に学校行事での活動となります。撮影した写真は記録として活用します。

写真は撮影者が自由に構図を考え、写真を見る人に思いや感動を伝えることができる魅力があります。

カメラを持っていない人も貸し出しのカメラを使って活動を楽しむことができます！スマートフォンを使った撮影もOKです。

みんなで楽しく Let's 写活～～！

SNS 投稿 dialy

農大公式アカウント：Instagram・X(Twitter)  
アカウント名 **「aichinoudai」**

通番 (投稿日) 内容

71 (9月 25 日) 輪ギクの定植



72 (10月 1日) さつまいもの収穫



73 (10月 2日) トマトが着果しました



74 (10月 2日) 大型特殊免許取得研



75 (10月 3日) 農林水産 FEST に出演



76 (10月 6日) シャインマスカットカフェ



77 (10月 9日) 大特技能試験、全員合格

78 (10月 14日) ビオラ咲きました！



79 (10月 14日) 10/15 農産物実習販売

80 (10月 14日) トマトが着色してきました



81 (10月 21日) 10/22 農産物実習販売

82 (10月 24日) 農大祭実行委員会



Follow Me !!

